

# 平成20年度「洲本市地球温暖化対策実行計画」結果

洲本市では、「地球温暖化地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、洲本市地球温暖化対策実行計画を平成21年2月に策定（平成21年10月に第1回変更）し、市の事務事業における温室効果ガスの削減目標に取り組んでいます。

実行計画では、平成24年度までに平成19年度比6%の削減を定めています。

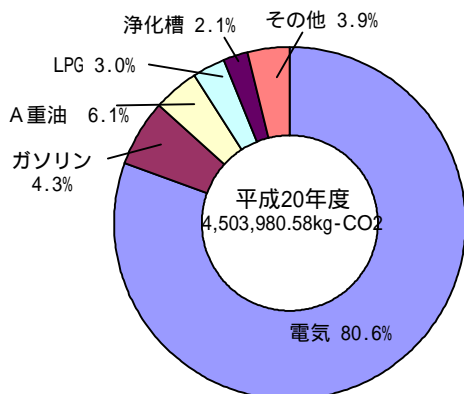
## 1. 平成20年度の温室効果ガス排出量の算定結果

平成20年度における市の事務事業より排出された温室効果ガスは、4,503,980.58kg-CO<sub>2</sub>となり、平成19年度と比較すると11.4%の減となりました。

調査項目	単位	活動量		増減	温室効果ガス排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )		増減	率(%)	
		平成19年度	平成20年度		平成19年度	平成20年度			
燃料使用量	ガソリン	L	90,471.4	83,406.4	-7,065.0	209,891.60	193,500.80	-16,390.8	-7.8%
	灯油	L	27,261.5	29,777.0	2,515.5	68,340.09	74,614.26	6,274.2	9.2%
	軽油	L	26,005.7	19,597.1	-6,408.6	68,639.40	51,709.20	-16,930.2	-24.7%
	A重油	L	111,942.0	100,113.0	-11,829.0	305,650.60	273,352.20	-32,298.4	-10.6%
	LPGガス	kg	43,259.4	45,379.1	2,119.7	130,016.38	136,385.58	6,369.2	4.9%
都市ガス	m <sup>3</sup>	18,753.0	18,726.0	-27.0	37,771.91	37,720.71	-51.2	-0.1%	
電気使用量	kWh	12,285,046.2	10,739,949.3	-1,545,096.9	4,152,337.90	3,630,095.00	-522,242.9	-12.6%	
公用車の走行量	km	1,214,464.7	1,090,662.3	-123,802.4	8,815.16	7,942.14	-873.0	-9.9%	
浄化槽によるし尿及び雑排水の処理	人	5,215.5	5,175.8	-39.7	95,752.10	95,033.69	-718.4	-0.8%	
自動車用エアコンディショナーの使用	台	186.0	186.0	0.0	3,627.00	3,627.00	0.0	0.0%	
合計					5,080,842.14	4,503,980.58	-576,861.6	-11.4%	

平成20年度においては、各部署において温室効果ガス削減に配慮した取組みにより、公用車のガソリン使用量及び各庁舎、学校等の市管理施設における電気使用量に伴う温室効果ガスの排出量は3.8%の減となりました。特別要因としては、水道施設において平成19年度と比較して降水量が多かったため、井戸から汲み上げる水道ポンプの使用が大幅に減少したためです。

## 2. 温室効果ガスの発生原因（平成20年度）



温室効果ガスの発生原因である燃料の種別を見ると、電気の使用量がその大半を占めています。

このため、室内温度の調整はもとより、OA機器の節電等、引き続き電気使用量を削減することに重点を置いた対策を実施します。